

第 302 回 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

日時：平成 21 年 11 月 9 日 (月) 17:30~19:30

場所：大阪大学銀杏会館 3F 三和ホール (吹田市山田丘 2-2)
(今回は、大阪大学医学部講義棟の山手にある会館で行います。)

テーマ：「腸管治療の最前線」

近年腸管は、手術、外傷、感染症など侵襲時の重要な標的臓器として注目され、感染の合併や臓器障害の進行に関与すると考えられています (“Gut as the motor of critical illness”)。Bacterial translocation や腸間膜リンパの有害性、腸内細菌叢や腸管免疫の破綻などが指摘され、有効な腸管治療の開発が待望されています。

今回、テーマを“腸管治療の最前線”とし、侵襲時に有効性が期待される腸管治療に関する最近の知見をご紹介します。この度、ヤクルト中央研究所からプロバイオテイクス研究の専門家である朝原 崇先生、野本 康二先生お二人を、また Critical Care 領域の腸管研究で世界的に高名なワシントン大学外科学 Coopersmith 教授をお招きし、“より良き腸管治療”を議論したいと思います。

この貴重な機会に、多職種の多くの方々のご参加を心からお待ちしております。

1. 「プロバイオテイクス治療の最近の知見：基礎研究」

(Recent progress in the basic research of probiotics)

ヤクルト中央研究所 基礎研究二部臨床微生物研究室

朝原 崇先生

2. 「Clinical Application of Probiotics for the Prevention of Infectious Complications」

(プロバイオテイクス治療の最近の知見：臨床研究)

ヤクルト中央研究所 基礎研究二部臨床微生物研究室

野本 康二先生

3. 「Epidermal Growth Factor (EGF) in Sepsis: A Molecule to Protect the Injured Gut?」

ワシントン大学外科学教授

Dr. Craig M. Coopersmith

世話人：高度救命救急センター 小倉 裕司

TEL：06-6879-5707 E-mail：ogura@hp-emerg.med.osaka-u.ac.jp

次回、第 303 回 CNC は、免疫アレルギー内科 田中 敏郎先生のお世話で平成 22 年 1 月 18 日 (月) 開催予定です。